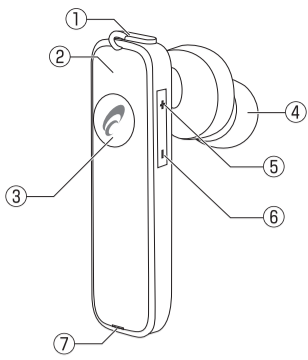
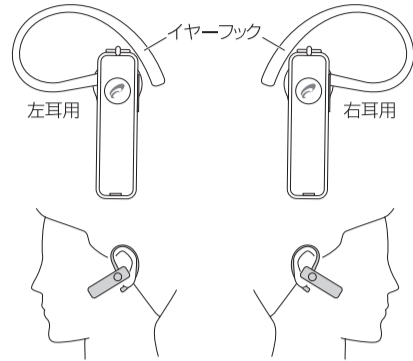


各部の名称



- ① 充電用USBポート
- ② LEDランプ(内蔵発光タイプ)
- ③ マルチファンクションボタン
- ④ イヤーチップ
- ⑤ 音量/スキップボタン(+)
- ⑥ 音量/スキップボタン(-)
- ⑦ マイク

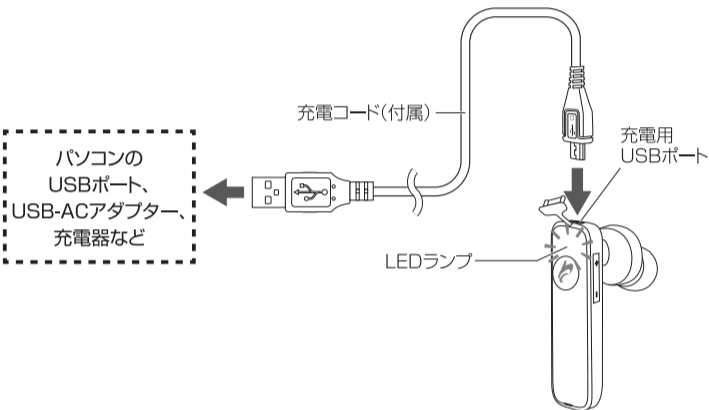
装着方法



- 本製品には着脱式のイヤーフック(1個)が付属しています。イヤーフックは左右兼用で、取り付けの向きによって使い分けられます。
- 取り付けは本機のイヤホン軸部にイヤーフックを差し込んでください。
- 装着時はイヤーフックを耳にかけ、イヤホンを目穴に軽く入れるように装着してください。

充電のしかた

充電用USBポートのカバーを外し、充電コード(付属)でパソコンのUSBポートなどと接続します。充電が始まるとLEDランプが赤く点灯し、完了すると消灯します。

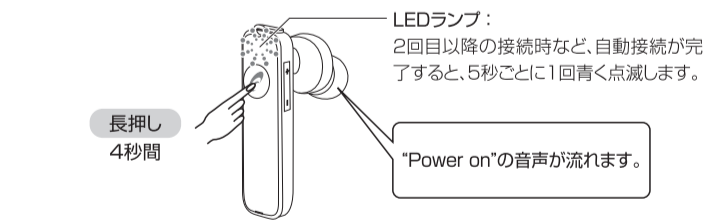


ヒントとご注意

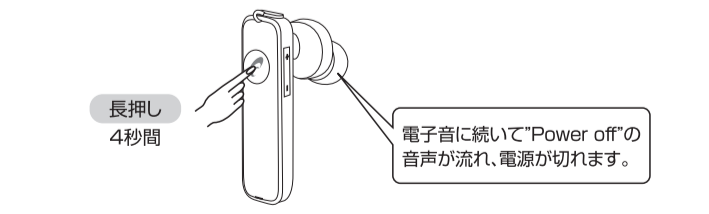
- はじめてお使いになるときは、十分に充電してからご使用ください。
- 充電中は本製品を使用できません。
- 充電には必ず付属の充電コードをご使用ください。また、付属の充電コードは他の製品には使用しないでください。
- 本機を充電するには電源供給ができるUSBポートに接続する必要があります。また、本機とパソコンは直接つないでください。USBハブなどを介してつなぐと正常に充電されません。
- 充電中にパソコンが省電力モードになると正しく充電されませんのでご注意ください。
- 残量ゼロからフル充電までは約1.5時間かかります。十分に充電したにも関わらず持続時間が半分程度になった場合は、電池の寿命と考えられます。
- 許容動作環境(温度: 0℃~40℃、湿度: 20~80%)を逸脱した環境下で充電した場合、充電が完了していてもLEDランプが消灯することがあります。適正な環境下で再度試し、それでも問題が解決しない場合は弊社修理ご相談センターにご連絡ください。
- 電池残量が少なくなると、「battery low」と音声流れ、LEDランプが赤く点滅します。その後しばらくすると電源が切れますので、直ちに充電してください。
- 長期間使わなかったときは電池の持続時間が短くなる場合があります。何回か充放電を繰り返すと、十分に充電できるようになります。電池の寿命を延ばすため、未使用時でも3ヶ月ごとに充電し直すことをおすすめします。
- 家庭用コンセントで充電する場合はUSB充電AC電源アダプター(別売)をご利用ください。

電源のオン/オフ

マルチファンクションボタンを4秒間長押しすると電源が入ります。はじめて使うときは、ペアリングが必要です。「ペアリング(初期登録)のしかた」を参照して操作してください。



電源が入っているときにマルチファンクションボタンを4秒間長押しすると電源が切れます。LEDランプが消灯します。



主なLEDランプ表示とその内容は以下の通りです。オーディオコントロール及び携帯電話の操作に関連するLEDランプ表示は各項目をご参照ください。

LEDランプ	内容
点灯(赤)	充電中(完了後消灯)
点滅(青⇄赤: 速い交互点滅)	ペアリング中(接続可能機器検索中)
1秒おきに2回速く点滅	接続中の相手側機器と距離が離れすぎている
5秒ごとに1回、青く点滅	無動作状態
6秒ごとに3回、速く青く点滅	動作中(音楽再生中など)

ペアリング(初期登録)のしかた

ペアリングとは、本機をイヤホンとして使用する相手側のBluetooth機器(携帯電話やBluetooth対応ワイヤレス音楽プレーヤーなど)に本機を初期登録する操作のことです。はじめて使うときは必ずペアリングを行なってください。

- 1 本機の電源が切れていることを確認し、手元に本機とBluetooth機器を用意します。
 - 両機器の間には障害物を置かず、1m以内にしてください。
 - 相手側のBluetooth機器は電源が入った状態でかまいません。
- 2 マルチファンクションボタンを8秒間長押しします。

本機の電源が入り、そのまま押し続けるとペアリングモード(Bluetooth機器を探している状態)になります。ペアリングモードでは青色と赤色のLEDランプが交互に速く点滅します。



- 3 Bluetooth機器側で本機を登録してください。

Bluetooth の設定画面を開く

iPhone :
[設定]→[Bluetooth]

Android :
[設定]→[その他の設定]→[Bluetooth]
[設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth 設定]

NTT docomo :
[アプリ]→[設定]→[Bluetooth]

SoftBank :
[設定]→[端末設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth]

au :
[設定]→[端末設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth 設定]

Windows Mobile :
[設定]→[接続]→[Bluetooth]

上記は参考例です。機種や搭載OSのバージョンなどにより、ボタンや項目の名称、画面展開が異なります。各機器付属の取扱説明書を参照してBluetooth機器の検索・登録画面へ順次進んでください。

本機を登録する

お使いのBluetooth機器側で本機の名称 **HST-W50N** が表示されたら、それを選択して登録します。パスキーやPINコードを求められた場合は **0000** と入力してください。
※携帯電話によってはご自身で設定されたパスコードが必要な場合があります。

本機との接続が完了すると…

接続が完了するとイヤホンから「Pairing completed」の音声流れ、本機を使用できる状態になります。
※2回目以降自動接続時には「Device connected」の音声と電子音流れ使用可能になります。

ヒントとご注意

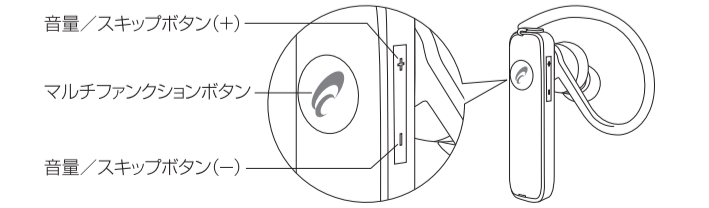
- 対応プロファイル: 本機はBluetooth標準規格 Ver.4.0(プロファイル: HSP、HFP、A2DP、AVRCP)に対応しています。複数のプロファイルに対応している機器の中には、プロファイルの選択が必要な機種もあります。その場合は、上記のいずれかを選択してください。上記以外のプロファイルでの動作は保証しかねます。
- 接続しようとしている相手側機器が他の周辺機器とBluetooth通信を行なっているときは、本機とのペアリング操作ができないことがあります。その際は、他機との接続を解除したうえで本機とのペアリングを行なってください。
- ペアリングモードのまま3分が経過するとペアリングがキャンセルされ、その後5分経つと本機の電源が切れます(キャンセルされた後は、6秒ごとに2回LEDランプが青く点滅します)。その場合はもう一度最初からやり直してください。
- 一度登録後、ご使用中に接続がうまく行かなくなったり、正常に動作しなくなったときは、ペアリング操作を再度行なってください。
- 最後に使用したペアリング済み相手側機器の電源が入っており、Bluetooth機能も有効なときは、本機の電源を入れると自動的に接続されます。ただし、機種によってその都度接続操作が必要な場合は、機器付属の取扱説明書を参照し、本機との接続を確立してからお使いください。
- 意図しない機器と接続されてしまう場合は、その機器の電源を切るかBluetooth機能をオフしてから操作をやり直してください。
- ペアリング完了後、相手側機器で再生などをしない時間(通信がなされていない状態)では、LEDランプが5秒ごとに1回、青く点滅します。
- 本機は最大8台のBluetooth機器を登録できます。8台を超えて登録しようとする古いものから削除されます。
- 本機にはマルチポイント機能があり、同時に2台の携帯電話の待ち受けが可能です。マルチポイント機能を使う場合は、「マルチポイント機能を使う」の項を参照して、別途設定してください。

自動電源オフ機能について

- 以下の場合、本機は省電力のため自動で電源が切れます。
- ペアリング状態(LEDランプ: 青⇄赤の速い交互点滅)が3分間続き、ペアリングがキャンセルされた後も5分間無操作状態が続いたとき
 - 相手側機器で本機との接続を解除した後、無操作状態が5分間続いたとき

オーディオコントロール

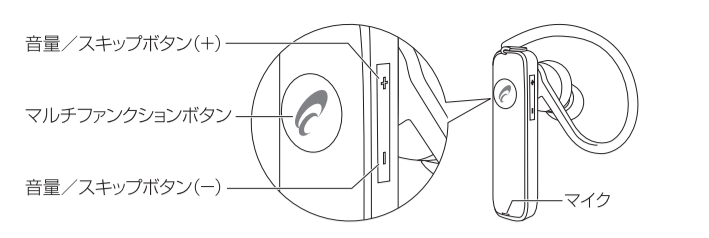
本機はA2DPに対応しているため、接続した携帯電話やスマートフォンの音楽や音声を聴くことができます。またSCMS-T対応なので、ワンセグ音声も聴くことができます。



ボタン	短く押す	長押し
マルチファンクションボタン	再生/一時停止	本機の電源を切る
音量/スキップボタン(+)	音量を上げる	次の曲を再生
音量/スキップボタン(-)	音量を下げる	曲の先頭に戻る/再生

●接続先の機器によっては機能しないことがあります。

携帯電話の操作



動作	操作方法
電話に出る	着信音が鳴っているときにマルチファンクションボタンを押す
電話を切る	通話中にマルチファンクションボタンを押す
保留にする	通話中にマルチファンクションボタンを2回続けて押す。通話に戻る時も2回続けて押す
通話機器を切り換える(携帯電話本体⇄本機)	通話中にマルチファンクションボタンを2秒間長押しする ※4秒間長押しすると電源が切れますのでご注意ください
リダイヤル	待ち受け中にマルチファンクションボタンを2回続けて押す
音量を上げる	音量/スキップボタン(+)を押す
音量を下げる	音量/スキップボタン(-)を押す

ヒントとご注意

- 通話時はマイク部を指先や衣服などでふさがないようにご注意ください。
- 着信があると英語で相手の電話番号が読み上げられます。
- リダイヤルについて: リダイヤル先は最後に発信した相手となります(着信した相手へのリダイヤルはできません)。
- お使いの機種によっては、携帯電話側で着信音や通話音声の出力設定が必要な場合があります。本機にて通話したい場合は、各機器付属の取扱説明書を参照し、本機スピーカーを選択してください。
- 着信音について: 携帯電話の機種や設定によっては、着信音が本機から1回だけ聴こえたり、その後は携帯電話側から通常の着信音出力される場合があります。

マルチポイント機能を使う

マルチポイント機能を使うと、2台の携帯電話を待ち受けすることができます。以下の手順で設定してください。

	1台目	本機	2台目
1	Bluetooth ON	ペアリング	
2	Bluetooth OFF	電源OFF	
3		ペアリング	Bluetooth ON
4		電源OFF	Bluetooth OFF
5	Bluetooth ON	電源ON	Bluetooth ON

ヒントとご注意

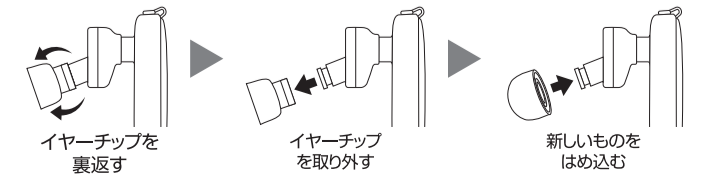
- いずれかの携帯電話に着信(呼び出し)があった場合: マルチファンクションボタンを押すとその電話に出ることができます。
- 2台とも着信があり、呼び出し中の場合: マルチファンクションボタンを押すと、最初にかかってきた携帯電話とつながります。
- 通話中にもう一方の携帯電話にも着信があった場合:
 - ・マルチファンクションボタンを2回続けて押すと、通話中の携帯電話は保留になり、後からかかってきた電話に出ることができます。
 - ・もう一度マルチファンクションボタンを2回続けて押すと、後からかかってきた電話を保留し、元の電話(最初にかかってきた電話)との通話を再開します。通話が終了すると2台とも待受状態になります。
- 携帯電話の機種によっては、マルチファンクションボタンによる操作で通話を終了することができないことがあります。その場合は相手に通話を切ってもらるか、携帯電話側で操作をしてください。
- リダイヤル機能について:
 - ・1台目の携帯電話のみリダイヤル機能が有効で、最後に発信した番号に電話をかけます。
 - ・ご注意: 携帯電話の機種によっては、ロックがかかっているとリダイヤル機能を使えない場合があります。
- マルチポイント機能が使えるのは携帯電話のみです。パソコンやゲーム機との同時待受はできません。
- 本機と接続した2台の携帯電話を3者間通話などで同時に使うことはできません。
- この機能はすべてのBluetooth対応携帯電話での動作を保証するものではありません。

iPhoneをお使いの場合の付加機能

iPhoneと本機を接続してお使いの場合は、マルチファンクションボタンを2秒間長押しすると、Siriを呼び出すことができます(通話中を除く)。Siriを終了するときはマルチファンクションボタンを1回押してください。
※2017年1月現在

イヤークリップの交換方法

本機には3種類(S、M、L)のイヤークリップが付属しています。好みに応じてフィットするサイズを選んでご使用ください。(工場出荷時はMサイズが装着されています。)



【お詫び】訂正と補足

一部同梱されております本製品の取扱説明書において、上記の内容と異なっており、以下の誤りがございました。深くお詫び申し上げますと共に、訂正させていただく次第です。誠に恐れ入りますが、下記の正誤内容をご確認いただき、正しくお使いいただけますようお願い申し上げます。

充電のしかた



誤

充電用USBポートのカバーを外し、充電コード(付属)でパソコンのUSBポートなどと接続します。充電が始まるとLEDランプが赤く点灯し、完了すると青色に変わります。



正

充電用USBポートのカバーを外し、充電コード(付属)でパソコンのUSBポートなどと接続します。充電が始まるとLEDランプが赤く点灯し、完了すると消灯します。

電源のオン/オフ



誤

LEDランプ	内容
点灯(赤)	充電中
点灯(青)	充電完了
点滅(青⇄赤：速い交互点滅)	ペアリング中(接続可能機器検索中)



正

LEDランプ	内容
点灯(赤)	充電中(完了後消灯)
点滅(青⇄赤：速い交互点滅)	ペアリング中(接続可能機器検索中)
1秒おきに2回速く点滅	接続中の相手側機器と距離が離れすぎで

補足

- 「携帯電話の操作」内の図表にて、通話を保留する場合は「マルチファンクションボタンを2回続けて押す」とありますが、保留から通話に戻る際も、マルチファンクションボタンを2回続けて押してください。
- また、同図表内の「通話機器を切り換える場合(携帯電話本体⇄本機)」の操作にて、2秒を超えてマルチファンクションボタンを長押しすると(4秒程度)、電源が切れますのでご注意ください。